

平成24年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校 4年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きか」という質問に対し「好き」と答えている児童が6割とあまり高いとは言えないが、実技教科に関しては「とても好き」という肯定的な回答が多かった。学習時間は、平日が1時間くらいで、休日にも20分～30分くらいは行っている。授業への取り組みについては、「授業に必要なものを忘れずに持ってきている」「学習をしていておもしろい、楽しいと思うことがある」という肯定割合は高い。「授業で習ったことを自分なりにわかりやすくノートなどにまとめている」という質問に対しては肯定的な回答が多かった。基本的な学習態度が身につくよう継続して指導していく必要がある。
- ・ 家庭学習に関しては、宿題についてはほぼ全員が提出できているが、「テストで間違えた問題は、もう一度やり直している」「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」ことへの肯定比率が低く自主学習は十分に定着していないと考えられる。「家の人の学習への関心」には各家庭によりばらつきがあり、関心が低い家もあるので家庭への啓発の機会を設ける必要がある。
- ・ 「世の中のことへの興味・関心」については肯定の割合が、あまり高くはない。新聞やニュースなどを意識的に見るようにさせ、世の中の情勢への興味・関心を高める働きかけの工夫をしたい。
- ・ 学校で、友達、先生に対してのあいさつの肯定割合は高いが、家族や地域の知っている人へのあいさつの肯定割合は低い。あいさつすることの大切さをしっかり指導して、進んで自分から誰にでもあいさつできるように働きかけたい。
- ・ 「学校生活に満足している」という肯定割合はあまり高くない。教育相談等で具体的に情報を収集し、個々の児童のニーズに対応したい。「学校のきまりやルールを守っている」ということに対しても課題があり、集団生活でのきまりを守ることの大切さをより指導する必要がある。
- ・ 平日、休日ともにほとんど読まないという児童が多い。読む児童と読まない児童の差が大きい。読み聞かせなどの働きかけを継続して行う必要がある。
- ・ 学校がある日の寝る時間については、5割程度の児童が午後9時前までには寝ている。反面、10時過ぎに寝る児童に対しては家庭にも協力を求めたい。
- ・ 「学校のほかで、1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか。」と「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか。」という質問に対しては、ほとんどないか見ても短い時間であると回答している。休日になると、長時間テレビ等を見ている児童が多い。家庭とも連携して指導していく必要がある。
- ・ 携帯電話の所有率は昨年度より多くなっている。家庭でのルールを決め、フィルタリングもしている家庭が多いが、不十分な家庭もあるので、指導をしていく必要がある。
- ・ 毎朝朝ご飯を食べてきている児童が多いが、家の人と一緒に食べていない児童もあり、家庭との連携を図る必要がある。好き嫌いについては、今後も指導の工夫改善をしながら家庭にも呼びかけていきたい。

